

ほほえん de 北播磨

2020 October

令和2年10月

第26号

あいさつ



北播磨総合医療センター

副院長兼看護部長 関口 靖枝

少しずつ秋らしくなり、朝晩の寒暖差が大きくなってきました。秋といえば、スポーツの秋・読書の秋などがありますが、食欲の秋でもありますね。この秋は例年以上に手洗い・うがいなどを心掛けて食事し、体調を崩さないように気をつけたいものです。

新型コロナウイルス感染症が現在もその猛威をふるっています。が、「with コロナ」という言葉を受け入れ、「新しい生活様式」に慣れていかざるを得ない今、院内に置きましても「3密」回避のために会議や研修などが変化しています。

ソーシャルディスタンスを意識してなるべく大きな会議室を使用し、多数参加する研修会は少人数に分けて

回数を多くするよう努めています。また、ビデオ撮影による配信など、これまで医療安全や感染管理の研修では行ってきましたが、これが今日のスタンダードとなっています。そして情報管理課の支援によってICTの活用が進んでいます。Web会議システム(Zoomなど)による研修会や学会参加、病院見学会の開催などが実現しています。

「人生100年時代、死ぬまでアップデート!」これは、私が毎回楽しみにしていましたメデイカ出版から送られてくる研修案内の中にある「Eyes of the mind」という連載の、最終回のタイトルです。昨年までの常識が今は常識ではない。変化を好まないので「人間」ではあるけれど、環境が変われば変化に対応せざるを得ない。パソコンやスマホを使うときはアップデートが不可欠で、最近ではそのアップデートの頻度が高くなっており、それだけ、世の中の変化がスピードアップしているということ。人間も、変わり続ける世の中で働き続けるには死ぬまでアップデートが必要なのではないか、といった内容でした。

私たちは、今後も変化にシなやかに対応し、真心とともに知識や技術をアップデートし続ける医療を提供して参りますので、皆様にはご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

副院長あいさつ	・・・1
ドクターのリレー講座	・・・2
病院探検ツアー	・・・4
チーム・委員会の紹介	・・・6
受賞、クリーンキャンペーン	・・・7
大きくな～れ	・・・8
診療科からのお知らせ	・・・9
外来診療日程表	・・・10
新任医師の紹介、他	・・・12



発行／北播磨総合医療センター
広報委員会（事務局：地域医療連携室内）
兵庫県小野市市場町 926-250
電話 0794-88-8800(代表)
FAX 0794-62-9911
ホームページ <http://www.kitahari-mc.jp/>

～ドクターのリレー講座～

『総合内科・老年内科の紹介』—不明熱を例に—

総合内科・老年内科 総括部長 やすともよしろう 安友佳朗



総合内科・老年内科は、疲れやすい、食欲がないなど受診する診療科がはつきりしない症状で来院された患者さんの診療にあたる診療科です。当科のスタッフは、診療科の垣根にとらわれず内科全般の診療に関心を持って診療に取り組んでいます。診察した後、ふさわしい診療科を紹介するか、数回診察して終診となることが多いのですが、時として入院が必要な患者さんがいます。



発熱している患者さんは、咳や痰などの呼吸器症状や特定の部位の痛みなど疾患と関連した症状があり、診察や検査を行うことで疾患を絞り込むことができます。

しかし一部の患者さんは、熱が続いていても症状や身体所見、外来でできる検査で診断がつかないことがあります。発熱が続いているものの通常の診療で診断できない場合、不明熱と呼んでいます。

診断がついていなくても、患者さんの重篤感、急いで治療しなければならぬかなど担当医は総合的に判断して、その後の対応を考えています。

微熱が続いているものの諸検査などで異常がなく診断がつかない場合、あえて踏み込んで精査するのではなく経過をみるという選択肢があります。

その場合医師は患者さんに「様子を見ましょう」と言うことがあります。しかし患者さんは、診断してくれない、何もしてくれないと思いい不安になるのではないだろうか。

我々は「様子を見る」という対応のことを「経過観察」と呼んでいます。経過観察は「何もしない」のではなく、「診察時点では診断を絞り込めないで、治療介入せず様子を見ることで診断・治療につながることを期待する」という意味です。

病気の中には、初期の段階では症状や検査結果にほとんど異常がなく、診断が付きにくいものがあります。中には様子を見ている間に症状が消失する、つまり自然に治癒することもあります。

この段階から効果が期待できるわけではない薬や点滴など中途半端な治療を行うと、症状や検査値が変化し、診断がさらに難しくなってしまう。

我々が「様子を見ましょう」と言う時には、患者さんに重篤感がなく自然治癒の可能性が見込まれる、進行性の病気が疑われても経過中に別

の症状や検査異常がでてきて診断を確定できるなど、ある程度その後の経過を見通していることが多いのです。



▲総合内科受付

患者さんは、「様子を見ましょう」と言われた時、次の診察までの症状の変化について注意してほしいと思います。

不安のため別の病院に行ってしまう、経過観察を始める前の状態を知らない先生に、最初から診察を受けることになります。

大切な経過観察中の身体所見や検査結果の動きが、情報として活かされず、診断が遅れることに繋がりがかねません。患者さんにとって大きなリスクであり、我々にとっても残念なことです。



外来診療で診断がつかない不明熱の場合、入院していただくことがあります。一般的に発熱の原因は、感染症が多いのですが、非感染性炎症性疾患、悪性腫瘍などもあります。不明熱で入院された患者さんに対して最初に疑う疾患は、細菌感染症です。



細菌感染症では、血液、尿、痰などから病因となっている細菌を探ることが大切です。すでに抗菌薬を使用されていますと、診断が遅れてしまいます。そのため安易な抗菌薬の使用は慎まなければなりません。

血液を培養して細菌が見つかることは、血液中に細菌が存在することを意味します。CTなどで感染症を示唆する所見がなくても血液培養が陽性であれば、心臓の弁、脊椎骨などの特殊な部位の感染症を疑うことになります。血液培養が陰性であっても、増加傾向にある結核、梅毒、HIVなど細菌感染症以外の感染症にも留意が必要です。

感染症が否定的であった場合、膠原病などの非感染性炎症疾患や悪性腫瘍を疑います。

膠原病は、関節リウマチなど自分

の免疫で自分の組織を破壊してしまう病気のことです。

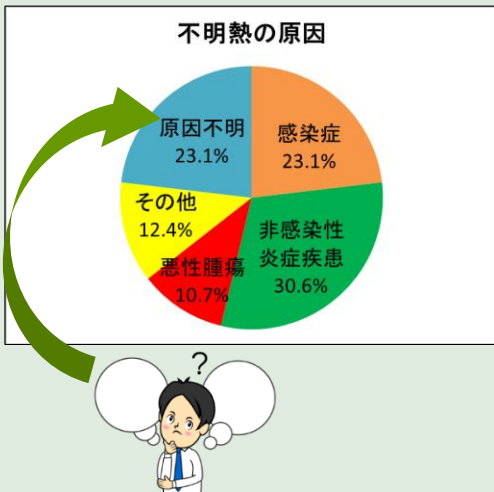
悪性腫瘍としては、悪性リンパ腫、白血病、腎癌、肝癌などが多いです。特徴的な症状で診断できることが多いですが、症状が乏しく診断に苦慮することもあります。

これらの疾患を疑って精査するのですが、それでも原因が不明な場合もあります。

原因が分からない発熱が続くと、重症の病気が隠れているのではと心配するのは当然だと思います。

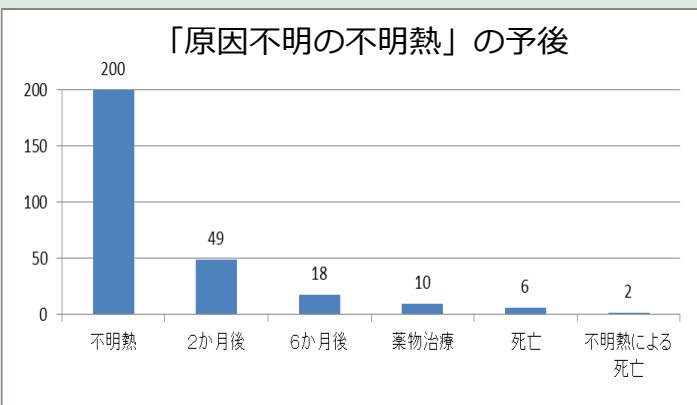
しかし、徹底的な検査で診断ができなかった不明熱の患者さんのほとんどは、その後の経過が良好であることが分かっています。

徹底的に検査をしているので、生命を脅かすような重篤な疾患のほとんどが除外されていることから、当然のことかもしれません。



1996年の報告ですが、200名の精査しても診断がつかなかった不明熱の患者さんの追跡調査をした有名な報告があります。

不明熱の精査をして2ヶ月後も原因不明の患者さんは49名、6ヶ月後は18名と減りました。その後症状を緩和するため薬物治療を受けた患者さんが10名、5年間で死亡された患者さんは6名いましたが、4名は発熱と関連のない疾患で死亡されました。発熱と関連して5年間の間に死亡された患者さんは2名でした。



20年以上前の報告ですが、当時より診断レベルが進歩した現在においては、徹底的に精査して診断がつかなかった不明熱については、しっかりと経過をみることで生命に関わるような病気が後から出てくることは、ほとんどないと考えられます。

経過をみることの重要性を、不明熱を例に挙げて示しました。症状があっても適切に診断してもらえないと心配するのは当然だと思います。我々は考えられるあらゆる疾患を想起しながら、可能性の高い疾患から鑑別を進めています。

診断がついていないことで、患者さんの抱く不安に我々が寄り添えていない点もあると思います。

できる限り丁寧で分かりやすい説明をすることで、不安を解消して適切な医療を受けていただけるよう取り組みでまいります。

次に、病棟に出向いてみましょう。

病棟では、服薬指導・服薬管理といった患者との直接の会話や、定数薬管理等の医薬品管理といった薬剤業務を行い、また緩和ケアチーム、NST（栄養サポートチーム）、ICT（感染対策チーム）、褥瘡対策、RST（呼吸ケア）等のカンファレンス・回診に参加し、薬剤師の視点から患者さんの薬物治療を支援しています。

糖尿病、心臓病リハビリ、抗がん剤治療に関すること等について、薬剤師の立場から指導・提案もおこなっています。

ベッドサイドやナースステーションで活躍しています。



最後に、外来化学療法室です。

ここでは、抗がん剤調製室で外来・入院患者の抗がん剤等を無菌調製しています。

また、レジメン管理や、検査値や患者さんの状態の観察や聞き取りにより、医師への処方提案も行っています。服薬管理指導や、カンファレンスへの参加も行っています。

新薬の情報を収集し、よりよい治療提供を目指しています。



さて、「アンサング・シンデレラ」ご存知ですか？

患者と病気、薬の飲み方、多くの薬の服用、抗がん剤といった薬と人との関わりを通して、病院薬剤師たちの知られざる舞台裏を描いています。“アンサング”とは「褒められない」という意味。医師のように頼られず、看護師のように親しまれなくても、“縁の下の力持ち（＝アンサングヒーロー）”として患者さんのために奮闘する病院薬剤師たちを描いています。

まだまだ一般的には、医師や看護師と比べて知名度は低く、外来で接することは少ないですが、病棟では、「薬剤師さんお願いします」と声をかけられることも多くなりました。

薬剤師は、調剤室、病棟、がん化学療法室、何処ででも縁の下の力持ちです。

皆さんの外来の服薬状況を管理している調剤薬局共々、薬剤師をよろしく！！





★病院探検ツアー

【薬剤室（薬剤師）を紹介します】



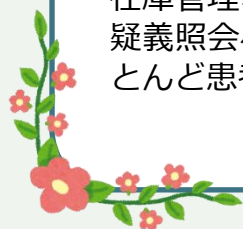
薬剤室（薬剤師）の探検に招待します。
まず、薬剤師は朝薬剤室に出勤します。
そこから、それぞれ調剤室、病棟、外来化学療法室へと業務場所へ移動します。
では、調剤室を案内します。
調剤室では、入院患者の注射薬、内服・外用薬を調剤しています。
外来患者への調剤・投薬・服薬指導も行っています。



食事が取れない患者さんへの「高カロリー輸液」の無菌調製も行っています。



その他、医薬情報業務、院内製剤調製、医薬品在庫管理、麻薬・血液製剤等管理、院外からの疑義照会への対応を担っています。実際にはほとんど患者さんと会うことはありません。



～チーム・委員会紹介～

「栄養管理委員会」の活動を紹介します！

栄養管理委員会は、給食業務の円滑で効率的な運営を図るとともに、適切な栄養管理を行うことで、患者さんの療養生活の質の向上を目的に、年3回開催しています。

メンバーは、診療部・看護部・診療支援部・管理部、及び給食委託業者など多職種で構成されています。活動内容の一部をご紹介します。



院内食事基準の検討

入院患者さんに提供する食事の基本となる、院内食事基準の検討を定期的に行っています。

例えば、患者さんから「病院食の味付けが薄い」という声を聞かれると思います。

今回、厚生労働省より5年毎に改訂される「日本人の食事摂取基準 2020」では、1日の食塩相当量の目標量が男性（15歳以上）7.5g未満、女性（12歳以上）が6.5g未満と示されました。当院では、前回の「日本人の食事摂取基準 2015」（男性 8.0g 未満、女性 7.0g 未満）により8gとしておりましたが、今回は更に塩分制限のない食事には、7.5gに引き下げる事と委員会で決定しました。

一般的に日本人は塩味を好み、摂取過剰傾向があります。国民健康・栄養調査によれば、最新の平成30年では、男性 11.0g、女性 9.3g の食塩摂取量の結果が出ています。理想と現実とは、かけ離れているように思いますが、高血圧症・腎不全等の疾病予防には減塩は重要な要素と考えます。

病院食の味が薄いのではなく、日本人の疾病予防には、減塩が必要で、入院中は病院食の味付けに慣れただけ、退院後もそれを継続いただくよう是非お願いします。

以上一例ですが、このように、様々な面から、栄養管理室で院内食事基準を見直し、委員会で諮り、それにより病院食の内容の改善を行っています。

また、下記記載の嗜好調査結果を含めて、病院食の内容検討を行っています。



行事食

嗜好調査の実施と検討

年に3回程度、入院患者さんに嗜好調査にご協力いただいています。管理栄養士が患者さんの所に伺い、調査用紙をお配りし、その後回収します。その時によって、調査対象を変え、昨年度は、常食・分悦食・減塩食・糖尿病食の当院のお食事について、ご意見を伺いました。

その結果を基にして、委員会メンバーで献立や使用食材など、患者さんが楽しみにして頂ける食事内容になるよう、検討を行っています。

これからも、入院患者さんに安全かつより良い食事を提供するため、そしてより質の高い栄養指導を行えるよう委員会メンバー一丸となり、努力していきます。



三崎先生 受賞おめでとうございます!!!

このたび、リウマチ・膠原病内科の三崎健太医師がベストドクターズ®社から、医師同士の評価によって選ばれる“The Best Doctors in Japan 2020-2021”に選出されました。

▼受賞を受けて（三崎医師）



ベストドクターズ社の名医選出方法は、名医（Best Doctors）に対して、「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」という観点から、他の医師に評価を伺うことで進められ、その中である一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors）に認定するというものです。

この度、栄えある米国 Best doctors 社の Best Doctors in Japan を頂いたことを大変栄誉あることと感動しています。

このような賞を得ることができたのも2016年の当科立ち上げ時から親身になって要望を叶えて下さいました故 横野浩一 病院長のご指導とモチベーションの高い当科スタッフや、いつでも相談にのって頂ける他科の先生方、コメディカルの方々に恵まれたお陰であると実感しております。

ゆえに本賞は当医療センタースタッフ皆で得たものと確信しております。今後も昨今の感染症禍に屈しない、患者様により信頼される「マグネットホスピタル」を目指して多くの方々にお力添え頂きながら医業に邁進していきたいと思ひます。

クリーンキャンペーン

8/21（金）に患者サービス向上委員会の取り組みの一つとして、クリーンキャンペーンを実施し、構内の美化に取り組みました。



「耳鼻咽喉・頭頸部外科」完全予約制へ変更のお知らせ

耳鼻咽喉・頭頸部外科では、患者さんの増加に伴い外来診療時間が長時間に及んでおり、大変ご迷惑をおかけしております。そのため、8月から予約、紹介状持参の患者さん及び救急のみとさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

外来受診の際には、地域の医療機関（かかりつけ医）に紹介状を記載していただくとともに、FAX 予約していただくことをお勧めいたします。

外来診療日：毎週 月曜・水曜・木曜

受付時間：午前 11 時まで



「眼科」外来診療の一部変更のお知らせ

令和2年8月21日（金）から、金曜日の外来診察が予約再診のみの診療体制となります。地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介及び初診、予約外再診の患者さんにつきましては月曜日から木曜日に診察させていただきます。緊急性の高い事案に関しましては直接お電話いただけましたら可能な範囲で受け入れさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

外来診療日 毎週月～金 *金曜日のみ再診予約制

*再診予約のない患者さん、初診の患者さんは月～木に受診してください。

診察開始時間 9:00 ～

外来受付時間（初診） 8:30 ～ 11:30

（再診） 8:00 ～ 11:30

検温および問診、臨時外来の受診方法について

当院の正面玄関では現在、病院へご来院の皆さまに検温及び問診を実施しております。

検温および問診の結果、検査や診察が必要な方または、保健所から受診を勧められた方につきましては、臨時外来にて検査・診察を行います。

お手数をおかけしますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ご理解とご協力をお願いします。

※面会・入院患者の送り迎えの方は、時間外入口で検温及び問診を実施いたします。



▲臨時外来(救急外来前)

全身麻酔手術等を受けられる患者様に対する 新型コロナウイルス PCR 検査実施のご案内

当院では、手術や飛沫が発生しやすい検査を受けられる方の手術前等新型コロナウイルス PCR 検査を開始（実施）しております。

当院に通院・入院されている患者様の安全を確保するため、ならびに医療従事者の感染を防ぐため、趣旨をご理解の上、皆様方には手指消毒やマスクの着用、面会禁止などに加え、引き続きご協力をお願いいたします。

ご協力よろしくお願いいたします。



★★★ 大きくな～れ ★★★



4 階東病棟



8 月吉日、吉田けい子さんのご家族にとって待望の女の子が誕生しました。



今回は、3 度目の帝王切開での出産でした。「3 回目ですけど、やっぱり緊張します。でも、早くお腹の子に会えるのが楽しみです。」と手術前は、心が不安と期待でいっぱいだったと話をしてくださいました。

出産後、生まれたばかりの赤ちゃんを吉田さんの元へお連れすると、元気な産声を聴いて安心され、小さな赤ちゃんの手を取り目に大粒の涙を浮かばせていらっしゃいました。

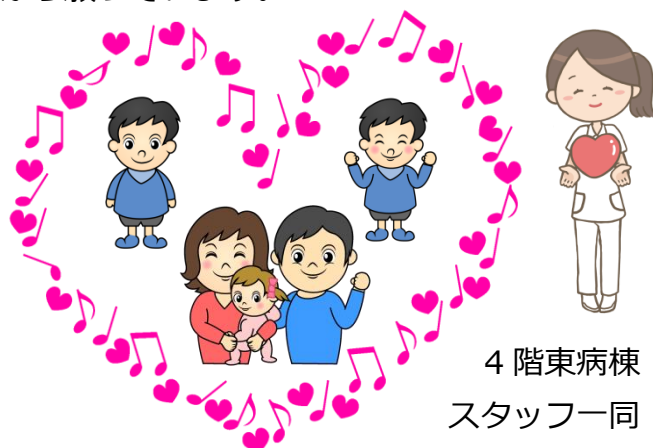
旦那さんも生まれたわが子を満面の笑みを浮かべながら、携帯のカメラで写真やビデオを撮られていました。



出産後の思いを尋ねると「上 2 人は男の子なんですけど、女のこはとってもかわいいですね。どこか、新鮮です。ずっと赤ちゃんを見てられます。はやくこの子といろいろな所へお出かけしたいですね。」と笑顔で語っておられました。温かいまなざしで、赤ちゃんにたくさん声をかけておられる姿が印象的でした。



これからは、5 人での生活がスタートします。お兄ちゃんたちと共に、ママ・パパからのたくさんの愛情を受け「大きくな～れ」とスタッフ一同、赤ちゃんが健やかにご成長されることを心から願っています。



4 階東病棟
スタッフ一同

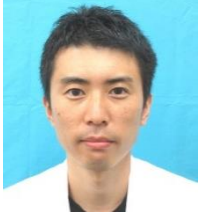
診療科		月	火	水	木	金	備考
ペインクリニック内科 完全予約制	午前			佐藤			予約のみ
	午後						
産婦人科	午前	西井	西井	西井	担当医 (受付10時まで)	担当医	
脳神経外科	午前	山本	三宅		三宅	坂田	予約のみ
		三宅	坂田		山本	藤田	
	午後	山本	三宅		三宅	坂田	予約のみ
		三宅	坂田		山本		
形成外科 完全予約制	午前	藤井	藤井	藤井	藤井 (第4週)		予約のみ
		林	林 (再診のみ)	林	林		
		山城 (再診のみ)	山城	山城	山城		
	午後	手術 学童外来(16時～)	レーザー外来	創傷外来	手術		第1～4水曜日はくつ外来併設 (予約のみ)
		レーザー外来 学童外来(16時～)	手術	創傷外来			予約のみ
		学童外来 (16時～)	レーザー外来	創傷外来			
小児科	午前	川崎	竹中	川崎	竹中	松野下	
		山本	田中	松野下	神戸大学	徳田	
	午後			心身外来 (山辺)			予約のみ
		アレルギーⅠ (竹中)	循環器外来 (こども／徳田) (第2週)	アレルギーⅡ (松野下)	小児外科 (加古川／川崎) (第2・4週)	腎外来 (松野下)	
		内分泌(山本) (第1・3週)	心エコー(徳田) (第1・3・4・5週)	内分泌 (山本)	神経 (田中)	発達行動 (竹中)	
		神経(田中) (第2・4週)	血液(川崎) (第1・3週)	心身外来 (山辺)	アレルギーⅢ (徳田)	乳児健診 (山本)	
		予防接種 (徳田)	発達初診(竹中) (第2・4週)				
眼科	午前	厚見	松本	福田	厚見	厚見	金曜日は予約のみ
		担当医	硝子体注射 (予約のみ)	硝子体注射 (予約のみ)		福田	
						松本	
			福田	松本	神戸大学		再診のみ
	午後		黄斑外来(楠原) (第3週)	角膜炎外来(長井) (第4週)		斜視・弱視外来 (第1・3週)	予約のみ
			検査・レーザー	検査・レーザー		コンタクト外来 (第2・4週)	
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科 完全予約制 (受付は11時まで)	午前	清水		山本	清水		予約のみ
		山本		上田	上田		再診(予約のみ)
		上田		清水	山本		
	午後	上田		清水			再診(予約のみ)
		山本		処置外来	処置外来		
		免疫アレルギー 外来			免疫アレルギー 外来		
皮膚科	午前	岡	熊野	岡	岡	神戸大学	
泌尿器科 完全予約制	午前	武市	田中		宮崎		予約のみ
			宮崎		武市		再診(予約のみ)
	午後	武市	田中		宮崎		予約のみ
			藤澤		武市		
放射線診断科	午前		富田 (予約のみ)	足立	宮本 (予約のみ)		
放射線治療科	午前	西川 (再診のみ)	西川	西川	西川 (再診のみ)	西川 (再診のみ)	予約のみ
		関井	関井 (再診のみ)	関井 (再診のみ)	関井	関井 (再診のみ)	
						石原	
	午後						
歯科口腔外科	午前	棚倉	南川	南川	南川	棚倉	初診のみ
		瓜生	棚倉	棚倉	棚倉	瓜生	再診のみ
		南川	瓜生	瓜生	瓜生	南川	
	午後	小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	予約のみ
		レーザー外来	腫瘍・術後外来		神戸大学		
		口腔ケア外来	口腔ケア外来	口腔ケア外来	口腔ケア外来	口腔ケア外来	
精神神経科 もの忘れ外来 完全予約制	午前	もの忘れ外来 (田中)	田中			もの忘れ外来 (田中)	予約のみ(金曜日は初診のみ)
			もの忘れ外来 (見市)				予約のみ
	午後	田中	田中				予約のみ
			もの忘れ外来 (見市)				
認定看護師相談外来 完全予約制	※	がん看護相談外来 川邊				慢性病看護外来 高橋(第2・4週)	予約のみ ※9:00～16:00
		感染対策相談外来 高橋					

外来診療日程表 【令和2年10月2日現在】

外来受付時間は、初診：午前8時30分～11時30分、
再診：午前8時～11時30分。診察開始時間は午前9時からです。
午後は予約のみの診察となります。 TEL：0794-88-8800(代表)

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合内科、老年内科	午前	山田	渡邊	原	担当医	担当医	予約のみ(初診紹介予約)
		西山	村上	渡邊	安友	岩橋	
		緩和ケア外来 (山名)		緩和ケア外来 (山名)			
循環器内科	午前	高見	栗野	山田	山田	吉田	再診(予約のみ)
		田頭	津田			高田	
			秋田				
		不整脈センター 外来(吉田)		津田	栗野	高見	
				寺下	田頭		
					浪花		
消化器内科	午前				浪花	ペースメーカー外来	予約のみ
		大瀬	田中	佐貴	家本	吉江	予約のみ
			森川				再診(予約のみ)
		森川	佐貴	田中	吉江	大瀬	
呼吸器内科	午前		三木	井上	佐々木	家本	予約のみ
			松本	立原	佐藤	河野	
			河野				
			高月		松本	高月	
	午後			金城	寺下	金城	予約のみ
						河野	
腎臓内科 完全予約制	午前	清水	白井	小坂	腹膜透析外来	藤本(第1・3・5週)	予約のみ
		安積(第1・3・5週)				西(第2週)	
		佐藤(第2・4週)				藤井(第4週)	
	午後				腹膜透析外来		予約のみ
糖尿病・内分泌内科	午前	安友	安友	西山	西山	担当医	初診の方の診察は総合内科・老年内科にて対応いたします。受付にてご確認ください。
		原	山田	小川	勝二	高吉	
		浦井	向田				
	午後				小川		予約のみ
脳神経内科 完全予約制 (初診紹介予約)	午前	担当医 (初診のみ)	濱口 (初診のみ)	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	濱口 (再診のみ)	予約のみ(初診紹介予約)
				高田	下村	古東	
					武田 (再診のみ)	武田	
	午後	小田	細見	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	古東	予約のみ(初診紹介予約)
		下村 (再診のみ)		高田	下村	武田	
				古東 (再診のみ)		山口 (再診のみ)	
						ボトックス外来	
血液・腫瘍内科	午前	杉本	大幡	今村 (腫瘍)	竹中	杉本	予約のみ
				後藤	大幡		
	午後	竹中	大幡	今村	杉本	後藤	
					平川		
リウマチ ・膠原病内科	午前	土橋	三崎	井上	矢部	三崎	予約のみ
		関節エコー外来				担当医	
	午後	土橋	三崎	井上	矢部	土橋	予約のみ
		関節エコー外来		樽谷			
外科、消化器外科	午前	御井	柿木	黒田	村田	黒田	再診のみ
		上田	荒井	横尾	佐伯	中村	
乳腺外科 完全予約制	午前		岡		岡		予約のみ
ストーマ外来 完全予約制	午前	森田	森田	森田 (初診)	森田	森田 (初診)	予約のみ (担当：皮膚排泄ケア認定看護師)
	午後	ストーマケア相談 (第1週)					電話相談のみ(13:00～16:00)
整形外科 完全予約制 (初診紹介予約)	午前	今泉	瀧川	新倉	高畑	立花	予約のみ(初診紹介予約)
		瀧川	新倉	今泉		高畑	再診(予約のみ)
		手術処置		手術処置	手術処置	手術処置	予約のみ
	午後			スポーツ外来 (新倉)			予約のみ
				スポーツ外来 (今泉)		脊椎外来 (高畑)	
呼吸器外科 完全予約制	午前		高田 (再診のみ)	田中	高田		予約のみ
心臓血管外科	午前	麻田 (予約のみ)	顔	麻田		顔	予約のみ
	午後	麻田	顔	山田		顔	
						森本	

新しい先生を紹介します

	たに りゅういちろう 谷 龍一郎 医師の紹介（9月1日付着任） 放射線診断科 医長 として 谷 医師が着任しました 〈卒業年次〉 平成19年 〈資格等〉 日本医学放射線学会放射線診断専門医 ほか
	うえ だ やす ひろ 上田 泰弘 医師の紹介（10月1日付着任） 外科 主任医長 として 上田 医師が着任しました 〈卒業年次〉 平成16年 〈資格等〉 日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医 ほか
	せき い しゅうへい 関井 修平 医師の紹介（10月1日付着任） 放射線治療科 医長 として 関井 医師が着任しました 〈卒業年次〉 平成20年 〈資格等〉 日本医学放射線学会認定医、放射線治療専門医 ほか
	しょう せ ひろ やす 庄瀬 裕康 医師の紹介（10月1日付着任） 脳神経外科 医員 として 庄瀬 医師が着任しました 〈卒業年次〉 平成26年 〈資格等〉
	よこ お ひろ き 横尾 拓樹 医師の紹介（10月1日付着任） 外科 専攻医 として 横尾 医師が着任しました 〈卒業年次〉 平成29年 〈資格等〉

【退任のお知らせ】

～お世話になりました～

9月30日付で、外科 専攻医 岡本柊志 医師が退任しました。

9月30日付で、脳神経外科 専攻医 嶋崎智哉 医師が退任しました。



参加者及び関係者の健康と安全、病院機能の保全を最優先とするため、今年度は病院フェスタの開催を中止いたします。

【編集後記】



秋の虫の音と共に、いつまで続くのかと思った猛暑の夏も終わり、過ごしやす季節となりました。今年の夏は、コロナ対策のマスクで一層暑く感じ、熱中症の危険を感じた方も多かったのではないのでしょうか。また、台風の季節となり、もし避難する時にも、スペースの確保、換気、衛生対策を行う等「新しい生活様式」が求められております。

新型コロナウイルスにより我々の生活は一変しましたが、本紙では、このような中でも皆様が笑顔になれる、赤ちゃんの誕生とご家族の様子を「大きくくなくれ」で紹介しております。また、今回の「病院探検ツアー」では薬剤室を紹介しました。私も患者さんと話をしていて時にご家族から、あのドラマの・・・と声をかけられました。普段、皆様が見る機会の少ない舞台裏もこのコーナーでは紹介しております。そして、「ドクターリレー」では、医師が専門的な話を載せておりますのでこちらも楽しみにして頂けたらと思います。

本紙が皆様のお役に立てるよう、充実した内容をお届けしたいと思っております。これからもよろしく願っています。



薬剤室主任薬剤師

福原 美和